

令和6年度支援計画(案)

そら

令和 6 年 3 月 1 日

- 活動目標
- ① そらの活動に慣れていく。
 - ② できる活動を増やしていき、社会経験を少しずつ増やしていく。
 - ③ 活動を通して、興味・関心を増やしていく。

※受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

5領域	ねらい		
健康・生活	健康状態の維持・改善	健康状態の把握	保護者さんと健康状態の共有を行う。 手洗い、うがい、マスクの着用。
		健康の増進	靴を靴棚に置く練習を行う。
	生活リズムや生活習慣の形成	リハビリテーションの実施	衣服の着脱練習を行う。
		基本的な生活スキルの獲得	☆公園など散歩に出かけて体力作りを行う。 ☆苦手な食べものに挑戦する機会をつくる。
運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上	基本的な生活スキルの獲得	睡眠をとれるよう体を使った活動を提供する。
		構造化等により生活環境を整える	
	姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上	体操や散歩をして歩行練習を行う。
		姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	正しい姿勢で椅子に座る練習を行う。
保有する感覚の総合的な活用	身体移動能力の向上	☆手指を使った製作活動を提供する。	
	保有する感覚の活用	自分でシートベルトを着用する支援を行う。	
認知・行動	認知の発達と行動の習得	感覚の補助および代行手段の活用	ボール遊びや玉入れ活動で体感を鍛える。
		感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応	☆触れる、聞く、食べる、見るなどの経験をさせる。
	空間・時間、数等の概念形成の習得	感覚や認知の活用	物の配置やトイレの場所を知らせる。
		知覚から行動への認知過程の発達	手洗い、うがい等の順序を練習する。
対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	準備や片付けが出来るよう提示する。	
	数量、大小、色等の習得	☆約束ごとを知り、行動出来るよう配慮する。	
言語・コミュニケーション	言語の形成と活用	認知の偏りへの対応	☆家族以外の人と過ごせるよう支援する。
		行動障害への予防及び対応	おもちゃを共有する機会をつくる。
	言語の受容及び表出	言語の形成と活用	指さし、ハンドサインを提示し、伝える。
		受容言語と表出言語の支援	毎日挨拶の声かけをする。
コミュニケーションの基礎的能力の向上	人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	要求や思いを伝えられる時間を確保する。	
	読み書き能力の向上のための支援	☆他の人と一緒に外出活動を行う。	
人間関係・社会性	他者との関わり(人間関係)の形成	指差し、身振り、サイン等の活用	☆他の人と一緒に食事をする。
		読み書き能力の向上のための支援	他の人と一緒におもちゃを共有する機会をつくる。
	自己理解と行動の調整	コミュニケーション機器の活用	仲間集めゲーム等、集団活動をする。
		アタッチメント(愛着行動)の形成	☆動物園や図書館など公共施設へ外出活動を行う。
仲間づくりと集団への参加	模倣行動の支援	☆動物園や図書館など公共施設へ外出活動を行う。	
	感化運動遊びあそび象徴遊びへの支援	おやつ作りやプリンターのお世話など共同で行う。	

※1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。

※2 ☆印はイベントを想定した支援内容になります。